

● 鉄鋼関連事業

● 機械関連事業

2008 (平成20年)

5月

機械関連事業

### 省エネ・CO<sub>2</sub>排出低減型 蒸気駆動エアコンプレッサシステムの共同開発について三浦工業株式会社と合意

産業用蒸気ボイラ大手の三浦工業株式会社と当社は、蒸気を動力源にして圧縮空気を製造する蒸気駆動式エアコンプレッサシステムの共同開発を行なうことで合意しました。

この共同開発の結果、両社は平成21年4月に世界で初めてとなる『圧縮熱回収蒸気駆動式エアコンプレッサ』の販売を開始しました。新たに開発したエアコンプレッサは、従来の電動モータ駆動式のエアコンプレッサに比べて、ランニングコストは約85%、CO<sub>2</sub>排出量は約90%も低減させることが可能となり、究極の省エネとCO<sub>2</sub>排出削減を実現します。



圧縮熱回収蒸気駆動式エアコンプレッサ

9月

### ● 独立行政法人宇宙航空研究開発機構 (JAXA) が開発中の宇宙輸送機へ当社チタン合金製品の採用が決定

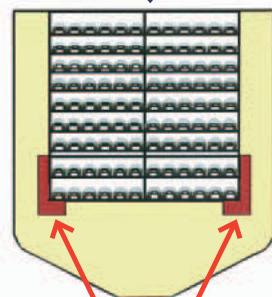
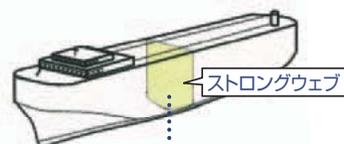
### ● 自動車用途の超ハイテン材のロールフォーム技術に関する包括技術契約をオーストリアのフェストアルピーネ・クレムス社と締結

11月

鉄鋼関連事業

### インドのエサール社と包括提携契約締結

インドの鉄鋼メーカー Essar Steel Limited (以下エサール社) と当社は、技術支援や鉄源補完等を視野に入れた包括提携を結ぶことに合意し、契約に調印しました。本契約の実行を通して、エサール社はより高品質な製品を効率的に生産・供給するための操業技術を習得し、インド市場でのプレゼンス向上を狙っていきます。一方、当社は、原料・鉄源の調達ソース拡大を図ると同時に将来のインド市場における高級鋼分野での事業機会を探っていきます。



降伏点 47kg級鋼板の適用部位

降伏点47kg級鋼板の適用部位

2009 (平成21年)

2月

鉄鋼関連事業

### 大型自動車運搬船に当社の降伏点47kg級鋼板が造船業界で初めて採用

今治造船株式会社と共同で、コンテナ船より強度の要求される大型自動車運搬船への、強度や粘り強さを高めた当社の降伏点47kg級鋼板への適用検討を進めてきた結果、平成20年12月に日本海事協会より実船適用の承認を得て、造船業界において初めて09年起工の大型自動車運搬船に採用されることが決定しました。この鋼板の使用により、板厚の低減、船体重量の軽減、溶接施工の効率向上が可能となるため、今後の用途拡大が期待されます。

※詳しい内容またはその他のトピックスについては、神戸製鋼グループホームページに掲載の「トピックス」をご覧ください。  
(ホームページアドレス <http://www.kobelco.co.jp>)